

# フォーユー FOR YOU

男女共同参画社会の実現に向けて



真の男女共同参画社会実現に向けたメッセージを、すべての人 (=For You)に発信したいとの願いを込めて名付けられました。

## アンコンシャス・バイアスを知っていますか？

アンコンシャス・バイアス (unconscious bias) は、日本語で「無意識の偏ったものの見方」のことを言います。他にも「無意識の思い込み」「無意識の偏見」「無意識バイアス」等と表現されることもあります。アンコンシャス・バイアスは「誰にでもある」もののため、日常生活や職場などいろいろなシーンで見られるといわれています。代表的な例としては、「男性／女性は、当然〇〇であるべきだ」などといった無意識の偏見・思い込みがあります。

具体的にはどのようなものがあるのかな？



### 日常のあらゆる場面で起きています。

- ・血液型を聞いて、相手の性格を想像することがある
- ・性別、世代、学歴等で相手を見ることがある
- ・「性別」で任せる仕事や役割を決めていることがある など



アンコンシャス・バイアスって何が問題なのかな？



### 問題なのは、気づかないうちに、「決めつけ」たり、「押しつけ」たりしてしまうことです。

アンコンシャス・バイアスを持つこと自体は問題ではありません。アンコンシャス・バイアスは日常にあふれていて、誰もが持っているものであり、それ自体はよい、悪いというものではありません。私たちは、過去の経験や見聞きしたことなどに影響を受けているため、過去の経験や日々接する情報、周囲の意見などから無意識のうちに形成されます。そのため、同じものを見ていても一人ひとり、解釈が異なるということが起こるのです。



対処方法はありますか？



### 決めつけない、押しつけないようにしましょう！

アンコンシャス・バイアスから生まれる言動には、「普通そうだ」、「こうあるべきだ」といった、決めつけや押しつけが挙げられます。

自分の決めつけや押しつけに気付いたら、ちょっと立ち止まってみてください。頭ごなしに決めつけないこと、相手を尊重する心の姿勢を持つことが大切です。



内閣府男女共同参画局が令和4年度に

# 「性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査」を行いました。



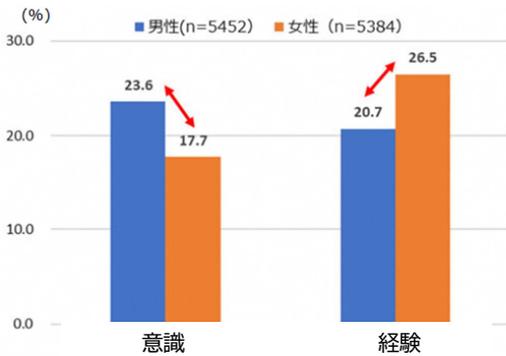
内閣府男女共同参画局が実施した令和4年度「性別による無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に関する調査」の結果をいくつか掲載しましたので、見てみましょう。

また、この調査結果の詳細は、内閣府男女共同参画局のホームページで、ご覧いただくことができます。

アンコンシャス・バイアスは、みんなの問題です。まずは、自分の中にある「内なるアンコンシャス・バイアス」に気づき、それにとらわれない、周囲に押しつけない、という意識を持つことが大切です。



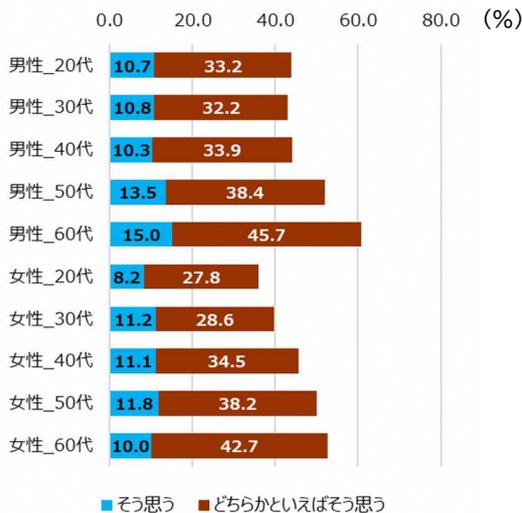
## ①男女差でみえるアンコンシャス・バイアス



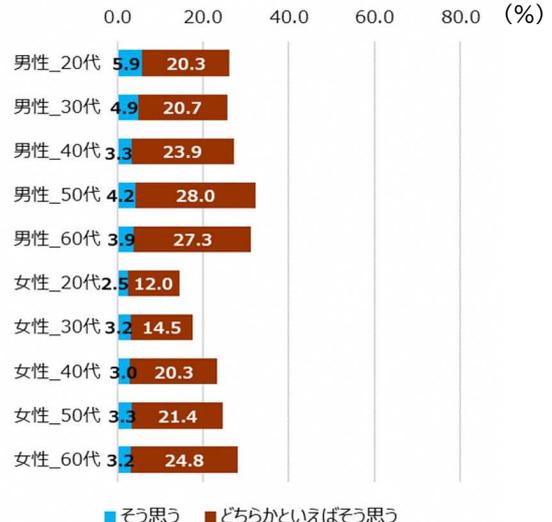
- ・ 全項目平均では、性別役割の「意識」は男性が強い一方で、直接言われた・言動や態度から感じた「経験」は女性のほうが多いことが分かります。
- ・ 男性は女性と比べて、性別に基づく役割を直接言われた、あるいは言動や態度で間接的に接した「経験」は少なく、伝統的な役割観に自身がとらわれていることに気づいていない可能性がうかがえます。

## ②性別役割意識<性・年代別>

男性は仕事をして家計を支えるべきだ



共働きでも男性は家庭より仕事を優先するべきだ

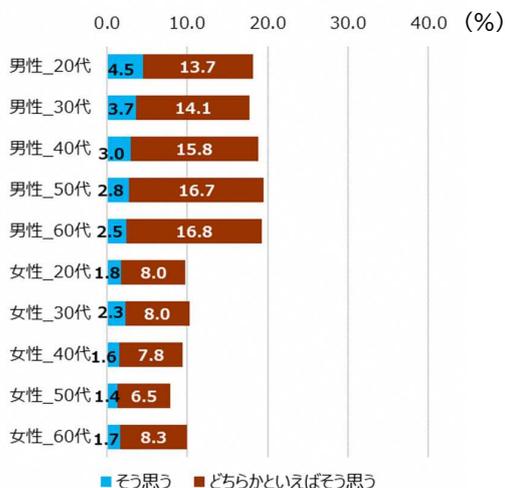


- ・ 「男性は仕事をして家計を支えるべきだ」は、「そう思う傾向」が、いずれの年代でも男女間で大きな差があるが、男性間においても20代と60代で大きな差がみられます。
- ・ 「男性は仕事をして家計を支えるべきだ」「共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ」とも、女性は年代が高いほど「そう思う傾向」が強いことが分かります。

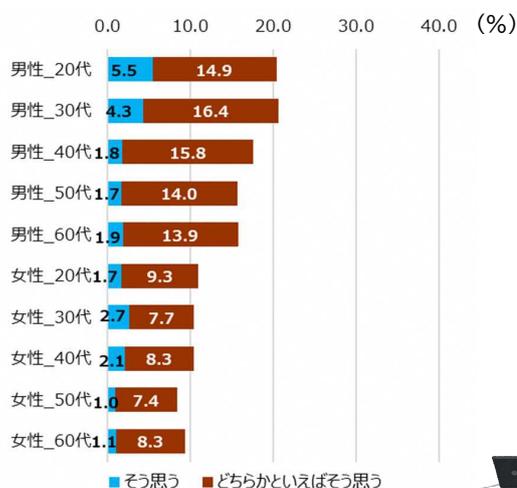


### ③性別役割意識<性・年代別>

男性なら残業や休日出勤をするのは当たり前だ



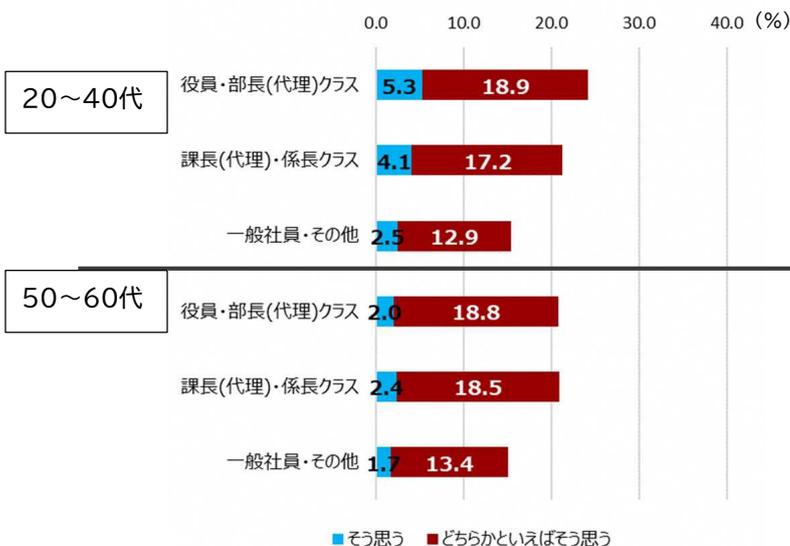
同程度の実力なら、まず男性から昇進をさせたり管理職に登用するものだ



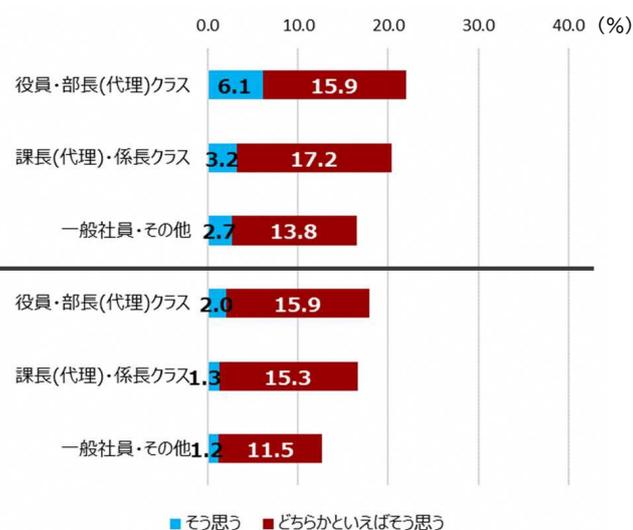
- ・ 職場の役割分担に関する項目で、特に「男性なら残業や休日出勤をするのは当たり前だ」「同程度の実力なら、まず男性から昇進させたり管理職に登用するものだ」について、女性より男性の方が「そう思う傾向」が強いことが分かります。
- ・ 「同程度の実力なら、まず男性から昇進させたり管理職に登用するものだ」は、20~30代男性で「そう思う傾向」が強いことが分かります。

### ④性別役割意識<役職別・職場>

男性なら残業や休日出勤をするのは当たり前だ



同程度の実力なら、まず男性から昇進をさせたり管理職に登用するものだ



- ・ 職場シーンについて、役職別で見ると、役職が高いほど、「そう思う傾向」が強いことが分かります。
- ・ 役員・部長(代理)クラスは、他の階層よりも「そう思う傾向」が強くみられ、特に20~40代の若い世代の役員・部長(代理)クラスで「そう思う傾向」が強いことが分かります。

出典：内閣府男女共同参画局「令和4年度 性別による無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に関する調査研究」

[https://www.gender.go.jp/research/kenkyu/seibetsu\\_r04.html](https://www.gender.go.jp/research/kenkyu/seibetsu_r04.html)





## 事業者に対する「男女共同参画に関するアンケート」

を実施しました。

市内事業者の男女共同参画に関する意識を把握するため、アンケート調査を実施しました。

このアンケートは、2年に一度の物品等に関する市入札参加資格審査申請時に実施しています。現在、集計中です。アンケート結果は、市のホームページに掲載します。

実施期間：令和4年11月28日（月）から12月9日（金）  
【新座市HP】 <https://www.city.niiza.lg.jp/>



男女共同参画講演会

## 講演フラガール物語

を開催しました。

講師に講演師の神田香織さんをお迎えして男女共同参画講演会を実施しました。講演会は映画「フラガール」をもとに、1960年代後半の斜陽化する炭礦の町福島県いわき市を舞台に、男性中心に動いてきた町で、女性たちが「自分自身の人生」を切り拓いていくことができるようになっていく「社会の変化」等を語っていただきました。

いわき市出身の神田さんによる迫力のいわき弁の語りと時には笑いも交えた内容に受講者の皆さんは聞き入っていました。



日時：2月18日(土)午後1時30分～3時  
場所：中央公民館

### 内閣府 男女共同参画局から



毎年4月は

「若年層の性暴力被害予防月間」です

10代・20代に対する性暴力の手口が巧妙になっています。「被害にあっているかも。」と思ったら、ひとりで悩まずご相談ください。

性犯罪・性暴力は、被害者の尊厳を著しく踏みにじる行為です。10代から20代の若年層を狙った性犯罪・性暴力は、その未熟さに付け込んだ許しがたい重大な人権侵害であり、決して許されるものではありません。

政府は、毎年入学・進学時期である4月を、「若年層の性暴力被害予防月間」とし、AV出演強要、JKビジネス、深刻化しているレイプドラッグの問題、酩酊状態に乗じた性的行為の問題、SNS利用に起因する性被害、セクシュアルハラスメント、痴漢等、若年層の様々な性暴力被害の予防啓発や性暴力被害に関する相談先の周知、周りからの声掛けの必要性など啓発をしています。「被害にあっているかも。」と思ったら、ひとりで悩まずご相談ください。



### 【主な相談窓口】

《内閣府》

\*性犯罪・性暴力について

◆性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター #8891

\*DVについて

◆DV相談ナビ #8008

◆DV相談プラス TEL0120-279-889

《埼玉県》

◆埼玉県男女共同参画推進センター (With You さいたま)

TEL048-600-3800 ※祝日・第3木曜日・年末年始を除く



内閣府男女共同参画局「若年層の性暴力被害予防月間」のページはQRコードから

新座市男女共同参画情報紙「For You」第53号（令和5年3月発行）

◇編集：新座市人権推進室 〒352-8623 埼玉県新座市野火止一丁目1番1号  
TEL 048-477-1513 FAX 048-479-2225

